館報
やまがた
10月号
No. 750
平成30年

お客さまの想いをカタチに　平沢　友希さん（中大池）

働く姿シリーズ

商業施設店舗の施工・管理などを行う、株式会社シェープワンズを経営する平沢さん。建築・インテリア関係の専門学校を卒業し、地元の建設会社に勤務する中で、図面に描かれたお客さまの理想が形になる仕事にやりがいを感じ、自らが経営者となることを決意し独立。今年で創業10年の節目を迎える。

店舗の内装工事を主力に、県外の物件も多く手掛けているが、今後は個人住宅のリフォーム分野にも力を入れたいとのこと。

「４月に村内全戸へ配布された『山形村生活ガイドブック』の表紙の裏にも、当社が載っていますよ」としっかりと宣伝も。

（10月13日 株式会社シェープワンズ事務所にて）

上大池分館旅行

9月16日(日)、東京方面にバスハイクに行きました。築地場外での買い物や、屋形船での食事など、参加された区民はそれぞれに秋の行楽を満喫していました。

敬老会

9月19日(水)、山形村敬老会がトレーニングセンターで開催され、133名の方が参加されました。出席者たちは、山形保育園の園児からの歌のプレゼントや、昼食時の旧友との思い出話で大いに盛り上がっていました。

ソフトバレー、開幕

10月12日(金)、トレーニングセンターにてソフトバレーボールの開会式が行われました。開会式終了後には、これから熱戦の舞台となる体育館の掃除が行われました。

告知板

★第68回山形村総合文化祭★

日　時　11月３日(土)
午前10時20分～午後４時30分
11月４日(日)　午前９時～午後３時

場　所　農業者トレーニングセンター
芸能（ステージ）発表：
ふるさと大ホール
展示発表・ワークショップ：
体育館ほか

★図書館イベント情報★

＊「懐かしの音風景　鉱石ラジオ」展＊

10月27日(土)～11月４日(日)

今では珍しい鉱石ラジオなど、懐かしのラジオを展示します。文化祭では実際の鉱石ラジオを聴く体験ができます。体験時間は…

11月３日(土)　午後１時～午後３時
11月４日(日)　午前10時～午前12時

＊文化祭「リサイクルブック」＊

図書館の除籍本や、雑誌、皆さんからいただいたリサイクル本を提供します。掘り出し物があるかも？

11月３日(土)　午前10時～午後５時
11月４日(日)　午前９時～午後３時

＊「おはなしの会」のナイトライブラリー＊

夜の図書館でお話を楽しみます。

11月16日(金)　午後７時30分～午後８時

第41回ナイターソフトボールリーグ戦　結果

Aリーグ		Bリーグ	
優　勝	おちこぼれ	優　勝	西　下
準優勝	オールグリーン	準優勝	ＳＢＣ2005
〃	ファザーズ	〃	Ｊパスタ
４　位	純	４　位	ＣＵＢ
５　位	ＥＲ横山	〃	ドカベン本郷
〃	オジンズ	６　位	中原町
７　位	竹　田	７　位	淀の内

第49回早起き野球リーグ戦 結果

優　勝	ＹＢＣ
準優勝	四ツ谷アップルズ
〃	上大池グルッペ
４　位	北斗ナイン
〃	Mostly suns
６　位	オール殿
トーナメント戦結果	優　勝　北斗ナイン 準優勝　四ツ谷アップルズ

山すそ

秋祭りの季節です。我が家の息子２人は、幸いにも、舞殿の乗り子をやらせてもらいました▼長男は５年前、「よくわからないけど、きっと子どもにとって良い経験になるであろう」と引き受け、私たち親も、他の乗り子の親御さんたちに教えてもらい、楽しく祭りに参加しました▼今年、次男に乗り子のお話が…。次男は、やる気満々。お父さんに、涙目で「がんばるから一緒に歩いてください」と訴え承諾してもらいました。（お父さんたちは、２日間、舞殿と一緒に歩くので大変です。でも、子どもの涙には勝てません）▼８月下旬から練習が始まり、毎日毎日息子は楽しそう。１ヶ月半の練習も、あっという間に過ぎ、祭り当日、天気は雨。「雨だと寒いよね？」等々のお母さんたちの心配をよそに「小坂は、水神様のお祭りなので、雨が降って良い事なんです」で祭りが始まりました。最初は高い声だった乗り子たちのかけ声も、本祭りで神社に戻って来た頃にはガラガラに▼２日間、舞殿曳航で本当に頑張った息子はひと回り大きくなっていました。

山っこ情報局 こちら

山っこの秋と言えば、やはり運動会ですよね♪…ということで、今回は運動会特集です！

9/23(日) 山形小学校
10/3 (水) 山形保育園
10/13(土) やまのこ保育園

やまのこ保育園

山形保育園

山形小学校

学校給食優良学校表彰によせて

～食べることを通して五感豊かな子どもに育ってほしい～

山形村立山形小学校　栄養教諭　杉木　悦子

子どもたちから「給食おいしかったです！」と言われるとうれしい。このような給食が提供できるのは、給食を毎日作っている調理員の先生方、それを支えてきた「安全な給食を守る会」の生産者をはじめとした地域の方々のおかげです。

山形小学校の給食の歴史を調べてみると、1948年（昭和23年）に父母の会の皆さんが春にみそを作り、寒い冬場に各家庭から野菜を集めて温かいみそ汁を提供したことが給食の始まりです。それから今日まで70年間、おいしい手作りにこだわった給食作りの心意気や調理の技は調理員さんから調理員さんへと受け継がれています。

今は、食中毒や食物アレルギーへの対応など、衛生管理や調理工程が複雑化していますが、「おいしい＝安全であること」を中心に給食作りをしています。「当たり前のことを当たり前にやっているだけだよ」と手間や心配りを惜しまない調理員の先生方によって支えられています。

また、山形村の地産地消は約30年前に始まりました。市場の物より調理するのに少し手間がかかりますが、新鮮で安くておいしい野菜が届きます。生産者の気持ちを受けとり、子どもたちにおいしさでつなげていく給食室、それを「好き嫌いせず、残さず感謝して食べる」ことで、心と体を育てている先生方によって地産地消の給食が営まれています。

給食の目的は、食育とともに、みんなで楽しく食べ、栄養や食文化を知り、食に関わる人や命に感謝することで、子どもたちが五感豊かに幸せに自立することです。子どもたちが健康で幸せに過ごせるように、学校と地域の人たちと力を合わせてがんばって行きたいと思います。

第70回村民運動会

(10/14)

おっとっと～

えっさ、ほいさぁ

校長先生と一緒にゴール

祭のあと
～編集部員の独り言～

第70回・平成最後の本運動会は、総合得点・男子リレー・女子リレーの3部門を総ナメにした小坂の完全優勝で幕を閉じました。

事前に連絡された通り、今年は競技数と時間を縮小して開催されました。正直なところ、寂しさや物足りなさ、そして伝統の衰退がこの村にも来たのかという不安も感じました。ただ一方で、形を変えても開催されたことにほっとした気持ちもあります。先のじゃんずらも同じですが、時代にそぐわないからとバッサリ切るのではなく、多少形を変えてでも残していきたいと尽力してくださった関係者の皆さんに感謝したいと思います。

これから数年は地域行事の在り方が問われ、試行錯誤が繰り返されることでしょう。様々なアイディアを出し合い、実現し、反省と修正を繰り返しながら、皆が納得できる落とし所に落ち着いて欲しいと願います。来年、新元号での最初の運動会がどうなるのか楽しみです。

秋祭り

実りの秋・・・今年の収穫に感謝して
各地で秋祭りが行われました。

9月15日・16日　建部神社例大祭
9月29日・30日　小坂諏訪神社例大祭
10月6日・7日　大池諏訪神社例大祭

小坂諏訪神社

舞殿の曳航・浦安の舞奉納が行われました。雨のため、宝探し大会は中止になってしまいましたが、大勢の区民で神社が賑わっていました。近年、小坂区の祭青年会は人数不足の問題がありますが、氏子衆や分館の協力を得て、今年も無事祭りを終える事が出来ました。

建部神社

ここ数年雨続きで「建部さんは水神様だから…」と言われてきましたが、今年は晴天の下で執り行うことができました。しかし、すべての祭事が終わってすぐに夕立が発生するあたりは、さすが水神様でした。

例年、祭事の中で奉納相撲が行われてきましたが、参加者の減少から、彌磨太鼓による演奏が行われました。伝統を変えることについて苦渋の決断をされましたが、神様へ感謝の気持ちを伝えたいという思いは、きっと届いたことでしょう。

大池諏訪神社

天候にも恵まれた大池諏訪神社の祭典。親子ユニット『ましゅまろまま』のコンサートでは、氏子もステージに登り、余興を大いに盛り上げていました。

鉢盛中学校　第52回白峰祭

9月27日(木)・28日(金)、鉢盛中学校にて白峰祭が行われました。

今年のテーマは「舞台～世界に一つだけの物語を～」。ステージ上には大きなパネルも展示され、壇上で発表をする生徒たちに花を添えていました。

1日目は午前中にステージ発表、午後は体育祭が行われました。大縄跳びや多種目リレーで盛り上がり、歓声をあげていました。

2日目は合唱コンクールが行われ、各クラスが練習してきた成果を発揮して発表していました。

地域の祭事～石尊様～

10月1日(月)の夕刻、小坂の堂村上・堂村下・清水の3常会で、水の神様に感謝する石尊様のお祭りが行われました。「サンゲ、サンゲ、ロッコンショウジョウ…」と独特な祈りの言葉を唱えながら五円玉を結わえた藁束を川に投げ入れる様子は、村内でもこのお祭りでしか見ることのできない特別な情景です。

風

（敬称略）

おめでた（子・親）

青柳　奏・弘光　梢・小坂
山﨑　新・和佳　奈緒美・上大池
中村水南都・誠　智子・上大池

おくやみ

宮澤　辰子・80歳・上竹田
瀬川　二弘・86歳・上大池

それいけ 公民館

“スポーツの秋”“食欲の秋”“読書の秋”
趣味を満喫するのに、とてもいい季節となっています。この時期、公民館でも様々な講座などが開催され、多くの参加者が楽しんでいます。

三味線講座

9月28日㈮から、百瀬瑞代さん（下竹田）を講師に迎え、全5回の三味線講座がスタートしました。受講者からは「難しそう」という意見もありましたが、回が進むごとにスムーズな指使いができるまでに上達し〝きらきら星〟〝故郷〟などの曲をきれいな音色で奏でていました。

ハーバリウム講座

10月5日㈮、赤羽未来子さん（下竹田）を講師に全3回のハーバリウム講座が始まりました。受講者はドライフラワーやビーズを使い、鮮やかな作品を制作しました。〝瓶に花を詰めオイルを注ぐだけ〟と簡単ですが、材料選びや入れる順番が難しく、それがまた楽しいそうです。

10/3（水）村民登山in木曽駒ヶ岳

千畳敷カールにて

10/9（火）公民館・活き生き大学in新穂高

しらかば平駅にて

シードルコンクール入賞

村内唯一のワイナリーである「大池（たいけ）ワイナリー」で醸造されたシードルが、今年の夏に国内で行われた二つのコンテストで共に入賞しました。

山形村産のリンゴふじで造った「ドライ」と「スウィート」の2銘柄は、それぞれのコンクールで高評価を得ての受賞となり、社長の藤沢啓太さんも「掛けた手間が風味に反映され、評価されたと思う」と話し、地道な作業をしてくれるスタッフへの感謝も述べていました。

また、9月30日㈰には、長野県のアンテナショップ銀座NAGANOとの企画で、ブドウの収穫・ワインの醸造体験ツアーが行われました。県外を中心に30名程の参加者がワイナリーを訪れ、ブドウの収穫の細かな作業などを体験しました。

山形村のPRにも貢献する大池ワイナリーに今後も注目ですね。

東日本大震災の復興を伝える

9月29日㈯、いちいの里デイルームで東日本大震災被災地視察報告会が行われました。

村民有志でつくる「東日本大震災『山形村からできる支援』を考える会」が、9月15～18日にかけて震災以降支援と交流を続けている岩手県山田町などを訪れ、現在の復興状況についての報告や、地元の「山田のまつり」の様子などを紹介しました。被災地の現状を、震災直後の「町中が工事現場」から、「町中が新興住宅地」の様に変わってきているとの話もありました。また、現地で購入して来た海産物などのチャリティー販売も行い、売上の一部を義援金として贈る活動も行いました。

石積みにかける

松本城は地元の手で直すぞ！

さらにはアンコールワットの修復も目標に

㈲小野石材店　**小野貴義**さん（上竹田）

近年の松本城石垣修復は、全て県外の職人が行っていました。この現状を知り、「地元の文化財を自分たちの手で守っていきたい」と行動を起こしたのが小野さんです。

そこでまず、松本石匠組合の仲間から賛同者を募り、一緒に全国で行われる研修会に積極的に参加し、修復に必要な技能検定を受けてきました。その中で人脈が広がり、福島の小峰城や東京の常盤橋などの実際の修復現場にも呼ばれ、経験を積んでいます。

この活動が実り、今年一月から始まった松本城本丸北側の解体には松本石匠組合からメンバーが初めて参加しました。小野さんは、今後行われる石積み作業には参加とのこと。さらに石垣の調査や修復に関わっていき、「松本城のかかりつけ医」として期待されています。

「石垣修復を学んでみると何百年も前からの高度な技術に驚かされる。この技術を残していきたい」と熱い思いを語ってくれました。

基本の作業

元の位置に戻っているかなー？

成人式で青春中 パートⅢ

百瀬　怜奈さん

下竹田

ふたご座

中村　海斗さん

下竹田

かに座

夢に向かって

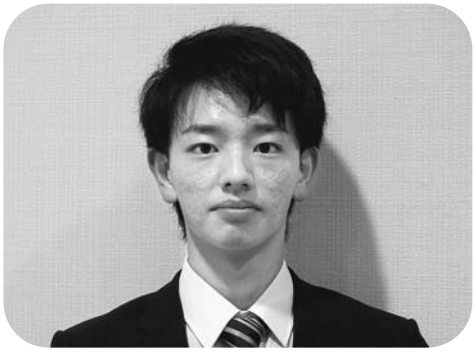
現在、山形県の大学で健康栄養について学んでいる怜奈さん。

熱中しているものはお菓子作りで、最近ではブルーベリースコーンやレアチーズケーキを作ったそうで、これからも色んなお菓子を作ることに意欲的。

また、月に一度は「子ども食堂」にも参加しており、子どもと触れ合いながら充実した日々を過ごしています。

「将来は、学校で栄養教諭として働き、子どもの食育に携わっていきたい」と話してくれました。

未来を見据えて



県内の大学で観光について学んでいる海斗さん。これからの時代、さらに発展していくであろう観光分野で、外国人旅行者などが増えると考えられているので、それらに関わる仕事に就きたいと日々勉強しています。

学んでいて楽しいことは、学外授業で自然や文化に触れてその地域を調べ、多くの人と交流することだそうです。

休日には、運動や読書、旅行などでリフレッシュをしていて、特に「多くのことに気づかせてくれる読書はぜひおすすめ！」とのことです。

編集と発行　長野県東筑摩郡山形村公民館　　印刷所　松本信州印刷ＫＫ